

● 一斉学習
■ 児童生徒実践型

実践タイトル 歌詞を視覚化して自信を持って一人で歌おう

本時のねらい

前時までに各パートごとに少人数で歌唱練習をした。本時は全員で合唱をする最初の時間であり、全体指導の場で自分の歌うところを把握し自発的に歌っていくことをねらっている。そこで、タブレットPCを用いて歌詞の表示支援、音声データによって歌唱支援を行い、自分のペースで歌詞を確認し見通しをもって参加できるようにする。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

タブレットPC

ASD（自閉症スペクトラム障がい）の生徒は、その障がいの特性から他者の意図を読み取ってどこに注意を向けなければならないのか分かりにくい、全体から必要な情報をくみ取って処理したりするのが難しい。そのため模造紙や電子黒板などを用いてクラス全員に向けて歌詞を提示してもどこを見ればいいのか分かりにくく、また、曲に合わせて歌詞を追視することが困難である。そこで、生徒の手元に置き自ら操作することができるタブレットPCを用いることで、歌詞が読み取りやすくなり、自分で直接操作することで「今なにをやっているのか」が分かりやすく、自信を持って授業へ参加できると考えた。

静止画

歌詞を1フレーズずつ静止画にして視覚化しタブレットPCに入れ、スワイプでページをめくるようにした。生徒自身の直接的な操作によって、継続的に情報が提示されることで「今歌っていること」が分かりやすくなり自主的、自発的に授業参加できるようになる。また、静止画に加え、音声合成歌唱ソフトウェアを用い、表示された歌詞をタップすることでフレーズごとの歌唱音声流れ、歌を自らの操作を伴いながら学習できるように工夫した。

参考にしてほしいポイント

ASDの生徒は、多くがその特性から電子黒板などを用いて一斉指導で情報を提示しても歌詞を追えなかったり、どこを見ればいいのか分からなかった。視覚的な支援を意図してフラッシュカードにしてみたが、高校生が好んで歌うような長い曲ではかさばってしまい、うまく持てず（めくれず）結局教師が促すことが多かった。そこで携帯性に優れ生徒が直感的に操作しやすいタブレットPCを使ってみた。歌詞を継続的に提示し、操作も生徒自らが行えるようにしたことで認知しやすくなり、難しかった一斉指導での合唱でも自発的に歌えるようになった。歌唱補助として用意した合成音声による歌唱も生徒の興味をひき、注目しやすくすることに役立った。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入	0 ○毎日歌って自信のある歌を数曲歌い、のどを温め歌を歌う楽しい気持ち形成する。 ○今日の音楽の時間における活動内容を知り、学習の見通しを持つ。 ・授業の流れを視覚化したボード。 ・今日歌う歌のフラッシュカード提示（写真1）。	・タブレットPC（今日歌う歌のデータを確認し、どの歌を歌うのか、歌詞はどうなっているのか確認して見通しと安心感を持つ） ・静止画
	展開	10 ○合唱全体練習。 ・自信をもつてのびのびと歌う。 ・歌詞を確認しながら内容を理解する。 ・全体で声をあわせる。	・タブレットPC（手元で操作しながら歌詞を確認する）（写真2・3） ・静止画
	まとめ	35 ○今日の練習を振り返り、上手くできたことを確認し評価する。 ○次時に練習するところを予告。	
		45	



写真1：歌詞を1フレーズずつ分けて視覚化した



写真2：スワイプで次の歌詞、タップで声が流れる



写真3：実際に授業で操作しながら歌っている

児童生徒の反応

以前より補助教材としてタブレットPCを活用していたため、今回歌詞を入れて渡しただけで、すぐに自分から操作を行い歌詞を覚えることができ、使用を開始した直後には、これまで声を出して歌うことがほとんど無かった生徒が歌唱できるようになった。

活用効果

評価の観点	歌詞の内容を把握し自発的にのびのびと歌唱する
具体的変容	歌詞が読み取りやすくなり積極的に歌えるようになった。また、授業前にあらかじめタブレットPCを渡しておくこと、事前にすべての歌詞と歌声を自分からチェックし、見通しをもって安心して授業に向かえるようになった。歌詞に加えて同時に音声データを再生できるようにしてあることで、よりイメージしやすくなった。

実践の手応え

合唱指導のように一斉指導で授業を進めるとき、ASDの生徒はなかなか歌詞を追えなく、せっかくやる気になっていても十分な支援ができなかった。タブレットPCを使うことで自分のペースで歌詞を追える、注視しやすい手元で情報を受け取ることができる、たくさんの曲・歌詞の多い曲でも手軽に使えるといったよさを実感している。この支援をはじめたことで今まで歌えなかった歌が1回の練習でできるようになり驚いている。